

初めてのカレッジ防衛モニター活動

神奈川地本 カレッジ防衛モニター 亀谷 拓海

5月29日(日)、横須賀市にある陸上自衛隊武山駐屯地にて、東部方面混成団創立5周年記念行事が行われたので、私はカレッジ防衛モニターとして参加をした。

当日は、早朝に横浜市にある神奈川地方協力本部にて、カレッジ防衛モニターとしての委嘱式に参加した後、マイクロバスで武山駐屯地へ向かった。つまり、カレッジ防衛モニターとしての初めての活動である。武山駐屯地は、海上自衛隊横須賀教育隊・航空自衛隊武山分屯基地が隣接しており、敷地は一体となっているほか、一部の施設は共用されているようだ。配置されている部隊等は、東部方面混成団本部・第31普通科連隊・第117教育大隊・第302普通科直接支援隊のほか、高等工科大学が併設している。今回は陸上自衛隊の行事のため、陸上自衛隊の敷地内のみ解放されていた。

まずは、記念式典及び観閲行進を見た。これは、東部混成団各部隊約1,000人で編成された観閲部隊による式典であり、隊員の行進の他、戦車等のいくつかの車両部隊の観閲行進を見ることができた。教育隊があるため、新入隊員による洗刺とした行進が特に印象に残った。訓練展示に移行し、ファンシードリルや特別儀仗、新入隊員による合唱や自衛隊体操の他、模擬戦闘訓練が行われた。模擬戦闘訓練展示は、戦車や車両の走行音、隊員のきびきびとした動きを見た他、10式戦車が動いているところを間近で初めて見られたので、とても興奮し感動した。

今後は、隊員のお話を聞く機会など、学ぶことが多くあると思うので、カレッジ防衛モニターとして、より一層自衛隊の魅力を伝えていきたいと感じた一日だった。

東部方面混成団創立記念行事見学

神奈川地本 カレッジ防衛モニター 清水 丈太郎

5月29日(日)、自分を含めた6人の大学生は、自衛隊の広報や自衛官募集などを主に行っている自衛隊神奈川地方協力本部から、カレッジ防衛モニターを一年間委嘱された。カレッジ防衛モニターとは、簡単に言うと、学生目線から見た自衛隊の世界はどのようなものか等、SNSを通じて発信し、周囲の人々に知ってもらう業務だ。委嘱式前にちよっとした予行練習を行ったが、早速、私達が普段行うことのない動作が出たり新鮮であった。気を付けの手はグー、敬礼と言われたからお辞儀するといった行動一つ一つに重みがあった。

無事に委嘱式が終わり、横須賀にある陸上自衛隊武山駐屯地に東部混成団創立5周年記念の行事に参加すべく移動。記念式典に自衛隊の部隊指揮官をはじめ、国会議員など多数の来賓も参列していた。来賓の祝辞で特に印象深かったのは、小泉進次郎衆議院議員が述べた、「積極的平和主義の下、精強な自衛隊であってください」このフレーズだった。国民や国土を防衛する任務を主にしている自衛隊に対して、最大限の誉め言葉だと私は感じました。訓練展示では、普段私達が生活している中では目にする事のない戦車や装甲車等を巧みに操っていた。また、新入隊員による自衛隊体操というラジオ体操と若干違う体操で、一つ一つの動きにキレと迫力があり、見ている側が後ずさりするくらい活気に満ち溢れていた。

私は海上自衛隊に入る事を目指しているが、この記念行事を見て、陸上自衛隊も良いなと思った。

東部方面混成団創立記念行事見学

神奈川地本 カレッジ防衛モニター 勝呂 拳人

東部方面混成団の創立から5年目を迎える記念行事が開催された。

記念式典が行われている中で、式典に近い隊舎から89式小銃を抱えた部隊の隊員たちが、指揮官と共に足並みを揃え、行進をしながらこちらへとやってきた。指揮官の指示にすべての神経を向けながら隊員が行進する姿や立ち姿は、気持ち良いほど揃っていて美しく感じた。国と人を守るために彼らが普段からどれくらい訓練を積んでいるのか、その緊張感のある空気が少しだけわかるように感じた。

大学の写真学部在籍する私は、美しい整列や緊張感をカメラで捉えたくて、夢中になってシャッターを押した。勇壮な戦車や87式対戦車誘導弾発射装置、PAC3地对空誘導弾発射装置なども見学することができた。

PAC3は今年に入り、ミサイルから日本を守る為に破壊措置命令が何回か発令されたニュースを見ていたので、身近な存在に感じるが、使わなくて済むようにと願うばかりだ。



第5期カレッジ防衛モニター (一番右が本人)